

令和 8 年度第 2 回匝瑳警察署協議会

1 開催日

令和 8 年 9 月 2 日（水曜日）

2 開催場所

匝瑳警察署

3 出席者

・協議会委員 4 人 ・警察署 10 人

4 業務報告

令和 8 年 6 月末の管内治安情勢等について

（1）管内における犯罪発生件数・検挙状況について

（2）管内における犯罪抑止対策等について

（3）管内における交通事故発生状況等について

5 警察署からの諮問事項

【諮問】自転車のルールを守ってもらうための取り組み（ヘルメットの着用率を上げるためにはどうすればいいか

【答申】年齢別での着用率の低い層を対象にした講習会等の開催。

この講習会等で事故現場の実例を伝えていくのはどうか。

【答申】官民一体となった、継続的な声かけの実施。学校、自治体、事業所、地域が連携した「かぶることが当たり前」の環境づくり。

【答申】ヘルメットの着用推進について、運転者の生命維持の観点から早期の義務化を求めるもの

【答申】自転車の通行帯と車道の明確な分離をおこなうもの。

【答申】青色パトロールカーの方からヘルメット未着用の方へ注意喚起等、声掛けができるか。

【答申】広報啓発活動用に児童向けの動画等があれば小学校へ呼びかけがしやすいのではないか。

【答申】イラストが記載され分かりやすいパンフレットだが、外国人用に英語等外国語が記載されたパンフレットがあった方がよいのではないか。

6 委員からの要望・意見等

（1）【要望】若年層が闇バイトや SNS 犯罪に巻き込まれないよう中学、高校での講話や保護者向けの啓発を充実させてほしいです。

【回答】現在も学校警察連絡協議会や各学校の校長先生、生徒指導の先生への防犯

講話を通じて生徒や保護者への啓発を実施しております。

それ以外にも学校の夏休み期間に合わせて安全・安心メールによる闇バイトの危険性についての情報発信などを実施しているところですが、今後も広報チラシや防犯講話を活用した啓発活動を実施します。

また、学校警察連絡協議会を通じて、各学校への講話も必要に応じて対応していくことは既に連絡をさせて頂いておりますので、要請があれば積極的に実施いたします。

(2) 【要望】 飲酒運転対策について

再犯率が高いと聞きますがどのくらいの数字でしょうか。

また、違反者に対してアルコールインターロックの装備を義務化すれば有効な対策となると思いますがいかがでしょうか。

【回答】警察庁は、飲酒運転事故件数については公表していますが、「飲酒運転者の再犯率」という形では公表していません。

過去には、飲酒運転を繰り返す常習飲酒運転者について、アルコールインターロック装置を義務付けることなどが検討課題としてあげられていました。

現在の飲酒運転根絶対策は、アルコールインターロック装置の義務化を中心したものではなく、飲酒運転の取締り、罰則・行政処分、安全運転管理者による酒気帯び確認、アルコール検知器の活用及び広報啓発などを総合的に進めています。

- 7 答申等に対する措置結果
なし
- 8 その他
なし